

(様式2)新規評価シート

建設部

道路建設課

事業種類	主要な道路の整備		事業名	県単道路改築				
市町村名	飯田市	ふりがな 箇所名	こく (国)152号	おしまがわら 大島河原	事業年度 (完了年度は見込み)	26年度～	28年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	道路拡幅工 L=100m W=4.0(5.0)m		30,000	国庫	その他	県債 一般財源	
	H26年度	地形測量 1式		1,485			1,337 59	
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～ 4,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台未満	0	0.3	17
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input type="checkbox"/> 代替となる道路がある		15		
		ネットワーク (道路網)	<input type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> 駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線	<input checked="" type="checkbox"/> 左記に該当しない	0		
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所 でない		10		
			<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路 ではない		20		
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満 (幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)	10		
	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る		<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分 であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない	0			
	小計					55		
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が され確実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮が されているが確実性 が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をして いない	30	0.1	6
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は 、振興山村、積雪地 域、過疎地域、地震防 災対策強化地域、観光 圏整備実施計画認定地 域に位置付けられてい る	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけは ない	30			
小計					60			
効率性	費用対効果	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果が得られる)	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	0	0.2	15	
	事業効果の早期発現 (事業期間)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上	40			
	コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	35			
	小計							75
緊急性	安全性の向上	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険がない	30	0.2	6	
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に 関係ない道路	0			
	小計							30
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35	0.2	16	
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	25			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に 直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見 を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映 していない	20			
	小計							80
費用対効果(B/C)		0.4	評価の合計				60	
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	当該区間は急カーブで見通しが悪く、幅員も急に狭くなるためすれ違いが困難である。また、日影であるため、冬期間は路面が凍結し通行車両の安全に支障をきたしている状況である。本線はオートキャンプ場へとつづく観光道路であるため、地域からの要望も強く、通過交通の円滑化及び安全確保のため早期事業着手が望まれている。						
	地域からの要望経緯	飯田市より強い要望がある。						
	事業説明等の経緯	飯田市に対して計画の概要説明を行い了解された。						
	環境・景観への配慮 項目	法面工を連続繊維補強土等により、緑化を図る。						
	他事業・プロジェクトと の関連	特になし。						
	特記事項	飯田市と連携し、周辺関係者の意見を聞きながら計画策定していきたい。						
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	地元要望が強く、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、平成26年度から事業化したい。			行政改革課 意見	ボトルネック箇所であることから必要性は認められる。			